

研究者リーダーシップ・プログラム

「第4回 キャリアアップのためのアクションプラン」参加レポート

東山キャンパスにてキャリアアップのためのアクションプラン講義に参加しました。講師が準備してくださった資料は非常に分かりやすく、内容をスムーズに理解することができました。講義の中で、事前課題に基づいて強みと課題を可視化するプロセスがとても興味深かったです。25 項目にわたる自己評価を通じて、自分の強みや改善点を客観的に見つめ直す良い機会となりました。また、資料内では日米のリーダーシップスタイルが 6 つのタイプに分類されて紹介されていましたが、その統計手法や母数、誤差範囲について正確に知りたいと感じました。

また「自走する研究室運営」のための行動目標を設定する方法についても学びました。特に講義と資料によって自分のアイディアの梯子のかけ方を教えて頂き、より具体的な計画を立てることができました。一方で研究室運営に必須となる、メンバーへの働きかけについての行動目標を作ることができず、今後の課題となりました。研究室運営には獲物を確実に仕留める鷹のような、優れたポスドクや共同研究者が一人でもいれば理想的ですが、実際には「鵜飼い」のように、個々の研究者の進捗を把握し、継続的にモチベーションを高める役割が求められます。その実現に向けて自分は行動目標を実行し、少しずつ成果を上げていきたいと考えています。

グループディスカッションでは、多様な独立した研究者の視点に触れることができ、非常に刺激的でした。特に参加者の目的を達成するための対処法を垣間見ることができ、そのアイディアに強い印象を頂きました。また皆さんが短時間でも目標を明確にし、議論を適切に管理する「小さくとも強いリーダーシップ」を発揮されている姿を見て、これが自分に足りない部分であることを実感しました。

本講義によって設定できた短期目標をまず実行できるよう日々心掛けたいと思います。